



平成28年11月1日
独立行政法人国立科学博物館

日本での自生は宮古島の1集団のみ！ 「ミツバウコギ」が開花！！

国立科学博物館 筑波実験植物園(園長 岩科 司)において、
ミツバウコギ(ウコギ科)が開花しました。

ミツバウコギ(宮古島採集)は当園で2015年4月から栽培しているもので、当園では今回初めての開花となります。また、国内の植物園等での開花も初めてとなります。花は11月7日頃までご覧になれます。

ミツバウコギは国外では中国、台湾、フィリピンに広く分布しますが、日本では2014年5月に宮古島に自生することが初めて発表されました。現在のところ、国内ではその一つの集団しか知られていません。筑波実験植物園では琉球大学等と協力してミツバウコギについての保全と研究を進めているところです。ぜひ、この開花の機会に筑波実験植物園でご覧ください

つきましては、本件について、取材・記事の掲載など広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

※ミツバウコギについては、別紙をご参照ください。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部 研究推進・管理課 研究活動広報担当：福島 昇

担当研究員：國府方 吾郎(植物研究部 多様性解析・保全グループ)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998

E-mail: t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP <http://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP <http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

ミツバウコギの開花について

1. ミツバウコギについて

学名：*Eleutherococcus trifoliatus*

科名：ウコギ科

分布：日本(宮古島)、台湾、中国、フィリピン

特徴：常緑の半つる性低木。植物体は樹上、岩上などに這うように伸び、その先端付近にウコギ科の特徴でもある散形花序の花をつけます。三出葉をもつことが和名の由来になっています。

その他：琉球大学の横田昌嗣氏らによる宮古島における野外調査が実施され、2014年5月に日本にも自生することが初めて発表されました。現在でも国内で知られている自生地はその1箇所だけです。希少性に加えて、琉球列島の他の島には分布しないといった系統地理学的な特異性もあります。

本種の自生地における開花時期は台湾産などでは9月～1月ですが、宮古島産については詳しいことはわかっていません。

国内の自生が2014年に発表されたため、最新の環境省レッドリスト(2012)には掲載されていませんが、国内ではとても希少な植物です。

筑波実験植物園では、ミツバウコギの保全とその系統地理学的な研究を琉球大学等と共に行っているところです。

2. 今回の開花について

開花日：平成28年10月24日(月)から咲き始めました。

花の見ごろ：平成28年11月7日(月)頃まで

植栽場所：当園多目的温室内

当園での開花：2015年に栽培を開始してから初めて



自生地の植物の全景



植物園で開花した花の写真